

# 旭川農業高校とオリジナル弁当の開発

～地産地消の取り組み～

イトーヨーカドー

2017/11/21

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

イトーヨーカドー旭川店では旭川農業高校と一緒に地産地消のオリジナル弁当を作りました。商品開発コンセプト作成から試食、販売まで全て高校生と一緒に取組みました。

地元企業の「フーズワン・ウルエ北海道」ご協力のもと4回もの試作品を検討してようやく完成した商品は、旭川店内で開催した「第13回農業高校食彩フェア」で高校生自身が販売！当日は高校生の熱意もあって、大勢のお客様にお買い上げいただきました。

今回の取り組みにより、高校生たちは商品開発の面白さ、地産地消の考え方、お客様に商品をお買い上げ頂く喜びなど、多くの事を学んだと思います。高校生だけでなく、私たちイトーヨーカドーの従業員も高校生の新しい発想や熱意に学びながらお弁当を開発することができました。

これからも地域のつながりを大切にして地域活性化につながる商品を作り、販売していきたいと思ひます。



イトーヨーカドー  
旭川店 店長  
藤澤 貴志

## 4月旭川農業高校との第1回目の打合せ



## 10月農業高校食彩フェアでついに発売！！



## 【商品開発コンセプト】

- ・地産地消により地域活性化をはかれる旭川オリジナルのお弁当をつくる！  
→北海道産豚肉100%使用  
→ソース・付け合せは全て旭川、または上川産

トマト、小松菜、アスパラなど、旭川には鮮度のよい材料がたくさんあります。



改善を重ねて開発した「旭農ハンバーグ弁当」はマスコミでも取り上げられ、話題商品となりました。期間中、通常のハンバーグ弁当の5倍以上の145個を売り上げ、喜びもひとしおでした。